サポセンニュース

(第 12 号)

知多市更生保護サポートセンター

行 事 名 称 中学校ミニ集会

実 施 日 令和3年7月~

「社会を明るくする運動」の一環として「ミニ集会」と称する、中学生を対象にした講演会を行いました。「社会を明るくする運動」の趣旨とともに、犯罪に巻き込まれないためにはどうしたら良いか、青少年が罪を犯すとどうなってしまうのか?などを判りやすく解説し、健全な中学校生活を送ることができる様に、生徒の皆さんに考えていただきました。コロナ禍で、一部の中学校に限られましたが、各学校担当の保護司が、工夫をこらして臨みました。「保護司」というものを知っていただく良い機会でもありました。ありがとうございました。





内 容

知多中学校での講演風景

生徒から寄せられた感想の一部を紹介します。

- ○保護司という頼れる人がいるのを初めて知りました。
- ○「更生」は自分ひとりの力では難しい。家族、友人、周囲の人達の支 えと、協力が必要だ。
- ○かつて罪を犯した人を、差別しないで受け入れる事が大切だと思い ました。
- ○犯罪で捕まったら、その後犯罪者としてどういう流れで扱われるか をよく知ることが出来た。犯罪に巻き込まれないよう気を付けたい。
- ○家庭環境が悪い人でも、犯罪の原因を家庭環境のせいにしてはいけないと思う。自分の行動や発言に責任を持つことが大事。そして善悪をしっかりと区別することが大切だと思いました。
- ○夏休みは特にSNSの使い方に気を付ける。性的被害が男子にもあると知りました。女子も男子も、頼まれても自分の裸の写真を送ってはダメ。
- ○保護司の存在を今まで知りませんでした。保護司さんの様な人達が 陰ながら私たちを支えてくれていることを知り、嬉しかったです。